

## 臨床試験概要 【JALSG-CBF-AML220】

### 1. 研究代表者(氏名、施設)

宮本 敏浩、金沢大学附属病院 血液内科

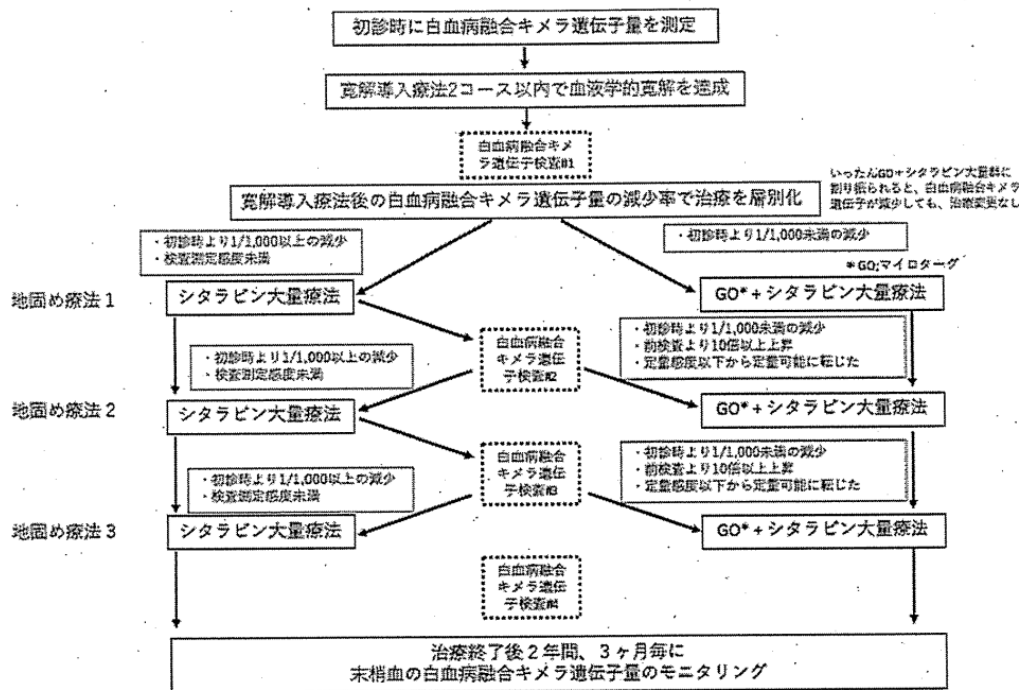
### 2. 目的

初発の t(8;21)(q22;q22)/RUNX1::RUNX1T1 及び inv(16)(p13;q22)/CBFB:MYH11 関連の急性骨髄性白血病を対象に、寛解後の微小残存病変（遺伝子レベルでの白血病細胞の残存）に対する治療として、大量シタラピン療法に加え低用量のゲムツズマブオソガマイシンを併用することで生存率が改善するか？安全性は問題ないか？を検証する試験です。

### 3. 対象

診断時年齢が 16 歳以上 65 歳未満の 初発 t(8;21)(q22;q22)/RUNX1::RUNX1T1 及び inv(16)(p13;q22)/CBFB:MYH11 関連の急性骨髄性白血病の患者さん

### 4. 治療(シエーマ可)



## 5. 予定登録数と研究期間

予定登録期間: 5 年

追跡期間: 登録期間終了後 2 年

総研究予定期間: 7.5 年(2020 年 11 月～2028 年 5 月予定)

予定登録数: 117 例

## 6. 問い合わせ先

富澤 大輔

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 小児がんセンター 血液腫瘍 診療部長

辻本 信一

公立大学法人 横浜市立大学医学部 小児科 助教